

校長式辞

本日は、山形県立鶴岡中央高校 創立25周年記念式典にあたり、田中同窓会長様、難波PTA会長様、藤澤梨香後援会長様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

平成30年に行われた創立20周年記念式典から五年の間に、私たちはこれまでにない未曾有の事態を経験することとなりました。しかし、苦難の道を乗り越え、できること、できる方法を模索し、知恵と工夫、想像力で学校生活を送る生徒の頑張る姿に、逞しさを感じるとともに、それを支え教育活動を行う職員を誇りに思います。

さて、本校は、県立鶴岡家政高等学校と県立鶴岡西高等学校を統合して設立していますので、歴史と伝統はさらに深く、多くの歴代の生徒、教職員の皆様に支えられ、新しい時代をリードする学校として、今日に至っています。「自ら思考し、創造し、豊かな人間性と実行力を備え、未知なる時代に果敢に挑戦できる生徒を育成する」という本校の「建学の精神」を継承し、創立20周年の折に「立志・気づき・共生」を校訓とし、本校の目指す生徒像を定義しました。これらを踏まえ、令和4年度に本校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーを策定しています。本校のスクールミッションは、探求する学びと仲間や地域との関わりを通して、学ぶ楽しさを知り、社会で活躍できる、学力と豊かな人間性を身につけ、「(立志) 夢を夢で終わらせない力、(気づき) いつも誰かを思って考えられる力、(共生) ふるさとのために活動する力」を持った、次代を担い、地域を担う人材を育成することです。

現代社会は常に変化し続けており、次々と新たな課題が生じ、この課題をどのように対応するかが問われています。このような社会では、単に知識や技術があるということだけではなく、「文章や情報を正確に読み解き、対応する力」、「科学的に思考し、吟味し、活用する力」、「価値を見つけ生み出す感性、好奇心・探求心」が必要であり、これらは人間にしかできないことと言われています。本校では、当時から総合学科において、「課題研究」に取り組み、問題解決能力を高める教育を推進してきました。現在は、普通科では、「地域課題に取り組む探究活動」、総合学科では、各系列において地域と連携した活動を行っています。また、隣接する慶応義塾大学先端生命科学研究所の「高校生研究助手」として任用され、最先端の研究に携わり、その後、研究所の研究員や研究の道へと進んでいる卒業生もいます。

学校生活の中で仲間と共に活動し、情報を共有したり、意見を交換したり、「考え、伝え、受け入れ、分かち合い、学びあう」という貴重な時間を過ごしています。また、インターンシップや大学・企業見学、ボランティア活動、地域との連携活動によって、人と出会い、人や地域とつながり、多様な価値観に触れ、自分の生き方・在りかたの視野を広げ、深めています。本校に対し、多くの皆様から関心をお寄せいただき、お力添えをいただいていることを実感しています。

進むべき道を切り開くのは自分自身です。高い志を持ち、未来へ突き進んでほしいと願っています。後悔や失敗のない人生はありません。何度も繰り返し、探求し、解決しようと挑戦し、成功の喜びや達成感を味わい、新たな道を見つけ出せる学校です。諸先輩の方々が築き上げた鶴岡中央高校で学ぶことができることを誇りに思い、自らもまた本校の歴史を作

る一人であるという気持ちを持ってほしいと思います。

「一人一人が主人公になって、輝くことができる学校」という思いを一つに、本校のスクール・ポリシーを実現し、地域に貢献できるグローバルな人材の育成を目指して、職員一同、一層の努力をして参ります

ご来賓の皆さまをはじめ、同窓会の皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さまからの、これからも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

地域に根ざし、地域に愛される学校を目指し、生徒の皆さん、

「立志・気づき・共生」を心に刻み、生き生き輝く姿を思い描いて、充実した学校生活を送り、鶴岡中央高校の歴史を積み重ねていきましょう。

以上、山形県立鶴岡中央高等学校創立25周年記念式典の式辞といたします。

令和5年6月14日

山形県立鶴岡中央高等学校

校長 兼子由香